



ほけんだより 1月



平成 31 年 1 月 4 日
青梅みどり第二保育園保健室

あけましておめでとうございます。新しい年の幕開けです。今年
は年号が変わりますね。どんな年になっても、子どもたちと元気い
っぱいに過ごしていきましょう。昨年末、ひまわり組でインフルエ
ンザAにかかる子が続きました。子どもたちだけでなく保護者の方
も、手洗い・うがいと休息を心がけて乗り切っていきましょう！

12月の感染状況	
溶連菌感染	5名
インフルエンザ	10名
とびひ	4名

<やけどに注意>

炊飯器の蒸気や電気ポットなど、子どもにとってやけ
どは1年中起こりやすい事故ですが、特に冬は暖房器具
の使用に伴って多くなります。小さい子どもは好奇心旺
盛で、なんでも触って確かめようとするので、安全柵の
設置や、熱源の周りを見回して危険がないか再三確認を
しましょう。

1月の保健行事

8日(火) 乳児体測

9日(水) 乳児健診

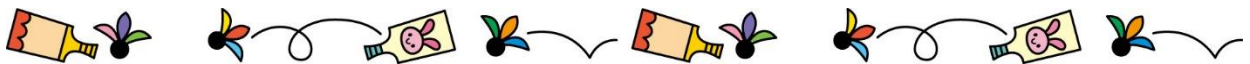
10日(木) 幼児体測



～やけどの応急処置のポイント～

- ① 流水で20分以上冷やしましょう。服が皮膚にくっついているときは、脱がさずに服の上か
ら水をかけましょう。水の勢い(水圧)は強くしないこと。顔や頭は、氷や保冷材で冷やし
たタオルで冷やすようにし、直接氷や保冷材を皮膚に充てないようにしましょう。
- ② 水疱ができたなら破かない。水疱を破くと、そこから感染したり跡が残ります。
- ③ 安易に消毒したり、市販薬を塗ったりしない。つい、何かつけたくなりますがガマン。
- ④ 水疱以上のやけどは病院を受診しましょう。

また、湯たんぽやホットカーペットなどが原因の低温やけどは、最初のうち痛みも少なく気が付
かないこともあります。思ったよりダメージを受けていることが多いので要注意です。冷やす
必要はありませんが、必ず病院を受診しましょう



寒いと日常茶飯事の子どもの鼻水、鼻の下が赤くかぶれている子もいます

ね。自分で鼻をかめない小さい子は、拭くときの摩擦や鼻をズルズル垂らしていることがトラブ
ルの原因になります。拭くときは、保湿剤が入ったティッシュやアルコールの入っていないウェ
ットティッシュなど、柔らかいもので拭いてあげましょう。ゴワゴワしたもので強く拭くと、痛
がって拭くのを嫌がるようになります。また、拭いた後はクリームやワセリンなどで保湿してあ
げましょう。

